

3. 財務の概要

※各計算書及び一覧表において、単位未満を四捨五入しているため、合計などに差異が生じる場合があります。

(1)2024 年度決算の概要

①資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に対応するすべての資金の収入および支出の内容と、当該会計年度における支払資金(現金及びいつでも引き出すことのできる預貯金)の収入及び支出についてその顛末を明らかにし、資金の使途や残高状況を表したものです。

収入の部		(単位:百万円)	
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	36,936	36,905	31
手数料収入	2,672	2,730	△ 58
寄付金収入	229	232	△ 3
補助金収入	6,053	6,167	△ 114
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	1,350	1,310	40
受取利息・配当金収入	1,047	1,251	△ 205
雑収入	661	994	△ 333
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	7,826	9,406	△ 1,580
その他の収入	2,072	2,387	△ 316
資金収入調整勘定	△ 9,101	△ 10,188	1,087
前年度繰越支払資金	33,145	33,145	0
収入の部合計	82,889	84,340	△ 1,451

支出の部		(単位:百万円)		
科	目	予 算	決 算	差 異
人件費支出		22,918	22,862	56
教育研究経費支出		16,194	14,385	1,809
管理経費支出		1,900	1,901	△ 1
借入金等利息支出		0	0	0
借入金等返済支出		0	0	0
施設関係支出		1,380	912	469
設備関係支出		3,665	4,606	△ 941
資産運用支出		4,167	4,639	△ 473
その他の支出		1,679	2,719	△ 1,039
[予備費]		(0)		
		600		600
資金支出調整勘定		△ 324	△ 1,393	1,069
翌年度繰越支払資金		30,710	33,710	△ 3,000
支出の部合計		82,889	84,340	△ 1,451

※ 差異の△表示は、決算額が予算額を超過していることを表します。

【収入の状況】

収入の部の合計 843 億 4,000 万円から前年度繰越支払資金 331 億 4,500 万円を除いた当年度の資金収入は 511 億 9,500 万円となりました。

学生生徒等から納付いただいた入学金や授業料等の学生生徒等納付金収入は 369 億 500 万円となり予算比で 3,100 万円の減、入学検定料収入を中心とする手数料収入は、27 億 3,000 万円となり予算比で 5,800 万円の増加、私立大学等経常費補助金や国際化拠点整備事業費補助金、附属校等の私立学校経常費補助金等の補助金収入が 61 億 6,700 万円となり予算比で 1 億 1,400 万円の増加となっています。

その他、予算での見込みより、寄付金収入が 300 万円、受取利息・配当金収入が 2 億 500 万円、雑収入が 3 億 3,300 万円、それぞれ増加しました。

【支出の状況】

支出の部の合計 843 億 4,000 万円から翌年度繰越支払資金 337 億 1,000 万円を除いた当年度の資金支出は 506 億 3,000 万円となりました。

人件費支出が 228 億 6,200 万円となり、予算比で 5,600 万円の減少、教育研究経費支出は、143 億 8,500 万円となり予算比で 18 億 900 万円の減少、管理経費支出が 19 億 100 万円となり予算比で 100 万円の増加、施設関係支出が 9 億 1,200 万円となり予算比で 4 億 6,900 万円の減少、設備関係支出が 46 億 600 万円となり、教育研究用機器備品支出、管理用機器備品支出の減少により予算比で 9 億 4,100 万円増加となりました。その他、退職給与引当特定資産繰入支出の増加で資産運用支出が 46 億 3,900 万円となり、その他の支出は 27 億 1,900 万円となり 10 億 3,900 万円予算を上回りました。

この結果、翌年度繰越支払資金は 337 億 1,000 万円となりました。

3. 財務の概要

(1)2024 年度決算の概要

②活動区分資金収支計算書の状況

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュ・フロー計算書に近いもので、資金収支計算書を「教育活動」、「施設設備等活動」、「その他の活動」の3つの区分に分けて、活動区分ごとの収支構造を明らかにしたものです。

教育活動による資金収支		(単位:百万円)	その他の活動による資金収支		(単位:百万円)
収入	科目	金額	収入	科目	金額
学生生徒等納付金収入		36,905	退職給与引当特定資産取崩収入		341
手数料収入		2,730	奨学事業引当特定資産取崩収入		24
特別寄付金収入		203	貸付金回収収入		5
一般寄付金収入		17	預り金受入収入		493
経常費等補助金収入		6,104	差入保証金回収収入		26
付随事業収入		1,310	修学旅行費預り資産取崩収入		272
雑収入		988	立替金回収収入		61
教育活動資金収入計		48,257	修学旅行費預り金収入		42
支出	人件費支出	22,862	その他の収入		172
教育研究経費支出		14,385	小計		1,435
管理経費支出		1,900	受取利息・配当金収入		1,251
教育活動資金支出計		39,147	過年度修正収入		6
差引		9,110	その他の活動資金収入計		2,693
調整勘定等		218	支出	退職給与引当特定資産繰入支出	579
教育活動資金収支差額		9,328	貸付金支払支出		2
			預り金支払支出		497
施設整備等活動による資金収支		(単位:百万円)	出資金支出		0
収入	科目	金額	修学旅行費預り資産繰入支出		305
施設設備寄付金収入		12	立替金支払支出		62
施設設備補助金収入		63	修学旅行費預り金支出		9
施設整備等活動資金収入計		75	その他の支出		187
支出	施設関係支出	912	小計		1,642
設備関係支出		4,606	過年度修正支出		1
減価償却引当特定資産繰入支出		4,060	その他の活動資金支出計		1,643
施設整備等活動資金支出計		9,577	差引		1,050
差引		△ 9,502	調整勘定等		23
調整勘定等		△ 333	その他の活動資金収支差額		1,073
施設整備等活動資金収支差額		△ 9,835			
小計(教育活動資金収支差額			支払資金の増減額		
+施設整備等活動資金収支差額)		△ 507	(小計+その他の活動資金収支差額)		566
			前年度繰越支払資金		33,145
			翌年度繰越支払資金		33,710

本業である教育活動による資金収支は、93 億 2,800 万円のプラス(収入超過)となりました。

施設整備等活動による資金収支は、98 億 3,500 万円のマイナス(支出超過)となりました。施設関係支出の主なもの、朝霞キャンパス新校舎スマート化整備工事及び川越キャンパス整備計画や陸上競技場改修工事、白山キャンパス図書館の電動書架更新のほか、大学の電気設備や消防設備の改修工事、空調機の更新工事等の支出です。設備関係支出の主なもの、朝霞キャンパスの新校舎の実験機器などの機器備品のほか、各学部の教育・研究のための機器備品、授業教室改善等に伴う教室什器更新、情報関係機器更新等の支出です。

教育活動と施設整備等活動を合わせた資金収支差額は、5 億 700 万円のマイナスとなりました。

その他の活動による資金収支は、10 億 7,300 万円のプラスとなり、この結果、翌年度への繰越支払資金は、5 億 6,600 万円増加し、337 億 1,000 万円となりました。

3. 財務の概要

(1)2024 年度決算の概要

③事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、当該年度の事業活動収入及び事業活動支出を、本業である教育研究活動の収支を示す「教育活動収支」と、教育研究活動以外の活動(主に財務活動)の収支を示す「教育活動外収支」、資産売却や資産処分等の臨時的な収支を示す「特別収支」に区分し、その内容を示すとともに、基本金に組み入れる額を控除したすべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を明らかにし、経営状態の健全性を表したものです。

教育活動収支 (単位:百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	36,936	36,905	31
手数料	2,672	2,730	△ 58
寄付金	218	231	△ 13
経常費等補助金	5,990	6,104	△ 114
付随事業収入	1,350	1,310	40
雑収入	661	989	△ 328
教育活動収入計	47,827	48,268	△ 441
事業活動支出の部			
人件費	23,013	23,023	△ 10
教育研究経費	23,183	21,391	1,791
管理経費	1,939	1,940	△ 1
教育活動支出計	48,135	46,354	1,780
教育活動収支差額	△ 308	1,914	△ 2,222

教育活動外収支 (単位:百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	1,047	1,251	△ 205
その他の教育活動外収入	0	0	△ 0
教育活動外収入計	1,047	1,251	△ 205
事業活動支出の部			
借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	1,047	1,251	△ 205

経常収支差額 739 3,165 △ 2,427

特別収支 (単位:百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
資産売却差額	51	0	51
その他の特別収入	74	183	△ 109
特別収入計	125	183	△ 58
事業活動支出の部			
資産処分差額	51	134	△ 83
その他の特別支出	0	1	△ 1
特別支出計	51	135	△ 83
特別収支差額	74	49	25

[予備費] (0) 600

基本金組入前当年度収支差額	213	3,214	△ 3,001
基本金組入額合計	△ 5,413	△ 3,489	△ 1,924
当年度収支差額	△ 5,200	△ 274	△ 4,926
前年度繰越収支差額	△ 47,741	△ 47,741	0
基本金取崩額	0	1	△ 1
翌年度繰越収支差額	△ 52,941	△ 48,015	△ 4,926

(参考)

事業活動収入計	48,999	49,703	△ 704
事業活動支出計	48,786	46,489	2,297

※ 差異の△表示は、決算額が予算額を超過していることを表します。

【収入の状況】

当年度の事業活動収入の合計は497億300万円で、教育活動収支の主な収入項目としては、学生生徒等納付金が前年度より11億1,000万円増加し369億500万円で、入学検定料などの手数料が大学の志願者数が大幅に増加したことにより前年度より3億3,100万円増加し27億3,000万円で、施設設備以外の特別寄付金や一般寄付金、現物寄付などの寄付金が前年度より4,900万円増加し2億3,100万円で、経常費等補助金が前年度より5億700万円増加し61億400万円になりました。

教育活動外収支では、受取利息・配当金が前年度から4,900万円減少し12億5,100万円になりました。

特別収支では施設設備に係る寄付金や現物寄付、施設設備補助金などが前年度より3,800万円増加し1億8,300円になりました。

【支出の状況】

当年度の事業活動支出の合計は464億8,900万円で、教育活動収支の主な支出項目としては、人件費が前年度より6億9,400万円増加し230億2,300万円で、教育研究経費が前年度より12億2,200万円増加し213億9,100万円で、管理経費は前年度より6,200万円減少し19億4,000万円となりました。なお、全体のうち70億3,100万円は減価償却額で8億9,200万円の増加となりました。

【収支差額の状況】

教育活動収支差額に教育活動外収支差額を加えた経常収支差額は、前年度より2億6,300万円増加し31億6,500万円で、さらに特別収支差額の4,900万円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、前年度より6億4,700万円増加し32億1,400万円となりました。基本金組入額を差し引いた当年度収支差額はマイナスの2億7,400万円で、翌年度繰越収支差額はマイナス480億1,500万円(支出超過)となりました。

3. 財務の概要

(1) 2024 年度決算の概要

④貸借対照表の状況

貸借対照表は、一定時点（決算日、3 月末現在）における資産、負債、純資産の財政状態を表したものです。

資産の部 (単位: 百万円)				負債の部 (単位: 百万円)			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	231,058	228,383	2,674	固定負債	9,416	9,255	162
有形固定資産	181,024	182,556	△ 1,532	退職給与引当金	9,416	9,255	162
土地	59,372	59,372	0	流動負債	11,506	11,414	92
建物	97,291	101,222	△ 3,931	未払金	1,070	1,311	△ 242
構築物	5,734	5,874	△ 140	前受金	9,406	9,101	306
教育研究用機器備品	10,053	7,546	2,507	預り金	725	730	△ 5
管理用機器備品	136	141	△ 4	修学旅行費預り金	305	272	33
図書	8,349	8,282	66	負債の部合計	20,922	20,669	253
車輛	0	0	△ 0				
建設仮勘定	89	118	△ 29				
特定資産	49,429	45,155	4,275	純資産の部 (単位: 百万円)			
第3号基本金引当特定資産	11,467	11,467	0	科 目	本年度末	前年度末	増 減
減価償却引当特定資産	26,979	22,919	4,060	基本金	293,909	290,421	3,488
退職給与引当特定資産	4,303	4,065	239	第1号基本金	279,331	276,459	2,872
建設準備引当特定資産	6,090	6,090	0	第3号基本金	11,467	11,467	0
井上円了哲学塾引当特定資産	160	160	0	第4号基本金	3,110	2,494	616
奨学事業引当特定資産	388	412	△ 24	繰越収支差額	△ 48,015	△ 47,741	△ 274
幼稚園園舎改築引当特定資産	42	42	0	翌年度繰越収支差額	△ 48,015	△ 47,741	△ 274
その他の固定資産	604	673	△ 69	純資産の部合計	245,894	242,680	3,214
借地権	55	55	0				
施設利用権	1	1	△ 0				
商標権	3	3	△ 0				
ソフトウェア	352	488	△ 135	科 目	本年度末	前年度末	増 減
出資金	32	32	0	負債及び純資産の部合計	266,816	263,349	3,468
ソフトウェア仮勘定	119	0	119				
有価証券	20	20	0				
前払金	6	29	△ 23				
差入保証金	1	26	△ 26				
長期貸付金	14	17	△ 3				
預託金	0	0	0				
流動資産	35,759	34,966	793				
現金預金	33,710	33,145	566				
未収入金	1,188	1,053	135				
前払金	367	324	44				
修学旅行費預り資産	305	272	33				
立替金	1	0	1				
仮払金	0	0	△ 0				
その他の流動資産	187	172	15				
資産の部合計	266,816	263,349	3,468				

【純資産の状況】

基本金は前年度末に比べ 34 億 8,800 万円増加して 2,939 億 900 万円となりました。このうち第 1 号基本金は白山キャンパス改修工事、朝霞キャンパス新校舎建設に係る組み入れや、施設の改修、機器備品など施設設備充実による取得などにより、前年度末に比べ 28 億 7,200 万円増加し 2,793 億 3,100 万円（基本金の未組入額は 1 億 1,100 万円）となりました。

しかし繰越収支差額がマイナス 480 億 1,500 万円と前年度末からさらに 2 億 7,400 万円マイナスとなったことにより、最終的な純資産は前年度末に比べ 32 億 1,400 万円増加の 2,458 億 9,400 万円に留まっています。

なお、今年度末における減価償却累計額の合計 979 億 500 万円に対して減価償却引当特定資産は 269 億 7,900 万円の保有状況になっています。

【負債の状況】

負債総額は 209 億 2,200 万円と前年度末に比べ 2 億 5,300 万円増加しました。固定負債は退職給与引当金が 1 億 6,200 万円増加したことにより 94 億 1,600 万円に、流動負債は未払金が 2 億 4,200 万円減少した一方で、前受金が 3 億 600 万円増加したことなどにより、前年度末に比べ合計で 9,200 万円増加し 115 億 600 万円となりました。

【基本金の状況】

基本金は前年度末に比べ 34 億 8,800 万円増加して 2,939 億 900 万円となりました。このうち第 1 号基本金は朝霞キャンパス新校舎の機器備品及び川越校舎改修工事に係る組み入れや、施設の改修、機器備品など施設設備充実による取得などにより、前年度末に比べ 28 億 7,200 万円増加し 2,793 億 3,100 万円となりました。

【収支差額の状況】

資産総額 2,668 億 1,600 万円に対して、負債総額が 209 億 2,200 万円になったため、純資産は前年度末に比べ 32 億 1,400 万円増加し 2,458 億 9,400 万円となり、基本金が 2,939 億 900 万円であることから、繰越収支差額はマイナス 480 億 1,500 万円となりました。なお、今年度末における減価償却累計額の合計は 979 億 500 万円、基本金の未組入額は 1 億 1,200 万円となりました。